

団体懇談会

開催日	時間	場所	参加人数
令和6年1月31日	午後3時から午後4時30分	藤久保公民館	23名
令和6年2月8日	午後7時から午後8時30分	三芳町役場	15名

内容

- ・第6次総合計画の策定について
- ・懇談(まちづくり提案や意見交換)

団体懇談会における意見について(まとめ)

分野別ビジョン	主な意見・提案等
基本構想(1件)	・(仮称)地域活性化発信交流拠点の計画について
みんなとつながる共生のまち(6件)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの活性化やボランティア等の横のつながりについて ・男女共同参画について ・男女共同参画の名称について ・協働のまちづくりから共創のまちづくりへの違いについて ・ボランティア同士の交流について ・多文化共生について
誰もが自分らしく生きるまち(3件)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ普及・推進の担い手確保について ・子育て環境と子どもの居場所について ・青少年育成活動の推進やPRについて
健康で元気な笑顔があふれるまち(1件)	・高齢者のフレイル予防について
安心して便利に暮らせるまち(4件)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通について ・地域性を加味した災害対策について ・都市計画道路(竹間沢・大井・勝瀬通り線)の進捗について ・わかりやすく訪ねやすいまちづくりについて
豊かで持続可能な産業があるまち(2件)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光施策について ・農業遺産に関するPRについて
緑と文化の中で心豊かに暮らせるまち(3件)	<ul style="list-style-type: none"> ・緑の保全について ・文化の範囲について ・こぶしの里の整備について

団体懇談会における意見について(詳細)

分野別ビジョン	主な意見・提案等
基本構想(土地利用構想図)	道の駅構想について、6次総合計画の中で達成しようということなのか、具体的な事はまだこれからなのか。
みんなとつながる共生のまち	<ul style="list-style-type: none"> ・政策1(共創のまちづくり) <p>民間主導の活動が感じられない。横のつながりを作るようなパワーが必要。町ではバックアップしてくれるのか。農業遺産の勉強会などから町の特色などを知り、NPOなどが立ち上がって共創のまちづくりにつながれば良いともう。</p> <p>協働のまちづくりから共創のまちづくりになるが、協働と共創の違いが分からない。協働と共創の二階層の設定なのか。</p> <p>ボランティア同士の交流があると活性化すると思う。</p>

	<p>・政策2(共生のまちづくり) 男女共同参画から見た策定書について 男女共同参加から参加したものです。当該の質問の際の答えを聞きました。その中で、人権問題は別の事項に持って行くと聞きましたが、人権の策定書を作成するという意味でしょうか？聞き違いだったのでしょうか？</p> <p>・政策 2(共生のまちづくり) 女性の活躍やジェンダーフリー・性の多様化などの文言は記載されているのか。外国人相談について。外国人が生きづらいと交流が活性化しない。 男女共同参画の男女という名称をこれからも使っていくのか。多様なセクシャリティを認め合う中で、男女というカテゴリで呼ぶのか。</p> <p>・施策「男女の性差や偏見のない認め合えるまち」の提案 日本においては、まだまだ男女の格差が社会では遅れているので、第6次総合計画の中に文言を入れたらと思います。</p>
<p>誰もが自分らしく生きるまち</p>	<p>・政策 4(地域まるごと学びの創出) 学童が昼に閉じてしまったり、子どもの日に図書館がやっていなかったことがあり、子どもの居場所がない。 青少年育成について満足度が低い。青少年相談員の活動など PR などをサポートしてくれるのか。</p> <p>・政策 5(芸術文化・スポーツのまちづくり) 私たちスポーツ推進委員は、スポーツを普及・推進していく担い手として、3年任期で非常勤として活動しています。選考方法は、行政区推薦で 14 名。担当課(社会教育課?)推薦で 7 名、計 21 名定員で活動していく形ですが、今の現状は定員割れしていて、16 名で活動しています。できたら、広報紙等でスポーツ推進の特集を組んでいただき、特に行政区の皆様により知っていただきたいと思っています。</p>
<p>健康で元気な笑顔があふれるまち</p>	<p>政策 7(健康長寿社会の実現) ・高齢者フレイル予防の取組について、大学との連携とあるが、研究の見地に基づいた推進ということか。</p>
<p>安心して便利に暮らせるまち</p>	<p>・政策 9(持続可能で快適に暮らせるまちづくり)・10(暮らしの安心が高いまちづくり) 移動の自由が保障され、安心して外出や行動できることが高齢者の心身の健康に大切だと考えます。デマンド交通の復活、ミニ自動車の巡回などがあるとありがたいです。ライフバスの回数の増加も歓迎です。 三富塾は旧島田家住宅が拠点となるが、上富はバスの便が悪い。交通施策があるのか。 町内に鉄道路線を延線するような考え方がほしい。 唐沢小学校から先の都市計画道路について(竹間沢・大井・勝瀬線) 災害時要援護者名簿には番地がなく、どこに住んでいるかわかりにくい。</p> <p>・政策 10(暮らしの安心が高いまちづくり) 行政連絡区ごとの地域性を考えた災害対策をしてほしい。</p>
<p>豊かで持続可能な産業があるまち</p>	<p>・政策 16(地域の特色を活かした農業の活性化) 農業遺産の PR がまだ足りない。</p> <p>・政策 17(訪れる人が笑顔になる観光振興の推進) 三富開拓地の空から(高いところから)の展望台の設置。現在、上富小の屋上から畑地を見ますが、ちょっと見づらいので。小学生は小さいので特に。</p>
<p>緑と文化の中で</p>	<p>・政策 18(次世代につなぐ歴史・芸術文化のまちづくり)</p>

心豊かに暮らせるまち

文化の中にスポーツは入っているのか。
・政策 20(未来につなぐ自然環境の維持)
藤久保地区は、平地林・畑地が消失しつつあります。町で何パーセントか買い取って、緑の環境を維持できないでしょうか。
斜面林(こぶしの里)について。都市公園としての整備と地域の生態系に即した保全整備とは意味が異なる。専門家に指導を仰ぐべき。

その他

・非常に考えられた計画案で良かったです。もっと三芳をアピールして下さい。
・懇談会に参加して、初めての参加ですので、難しい言葉が出てきて、難しく感じるところですが理解して、行動すべきか。高齢者には難しいかな、また横のつながりも大切か。